



ヘルスリテラシー：健康教育の新しいキーワード

福田洋, 江口泰正編著. -- 大修館書店, 2016.

REVIEWER

医学部人間健康科学科4回生

健康教育のすすめ（薦め）／健康教育にすすめ（進め）

「血圧が少し高いからって、なにがいけないの？」

もし医療者であるあなたがこのような問いかけをする患者さんを目の前にしたら、どのように応えますか？

本書では、ヘルスリテラシーの定義の変遷をその歴史からひも解いていて、ヘルスリテラシーというキーワードが健康教育にどのように関連しているのかを広く学ぶことができるようになっており、ヘルスリテラシーという言葉にほとんど初めて触れる人にもわかりやすい入門書としても価値があります。また、特に前半でまとめられているヘルスリテラシーの評価法については、すべての医療者に必読であるといえます。なぜなら、本書の中でも言及されていますが、健康教育を実践する前に、その対象者がどのレベルのヘルスリテラシーを持っているのかを把握しないとイケないからです。したがって、はじめの問いかけには、単に医療知識を説法するのではなく、まず個々人のヘルスリテラシーを把握して関わることを求められることになります。

また本書では、各箇所において概念的な説明と具体的な説明とがよいバランスでなされているので、全体的に理解しやすい読み物となっています。しかしながら、章ごとに担当著者が異なることも影響してか、ヘルスリテラシーに着目した具体的な取り組みなどについては、細かすぎて退屈を感じる人もいます。可能性はあります。本書は約150ページです。一気に読むことをオススメします！

受理：2017-01-13

498

07

F 74

医人健開架